



宗谷遺産アーカイブ

SO-YA Heritage Archive

No.	よみ	ほろべつがわかわじりちやし	アクセスマップ	https://goo.gl/maps/sRyau4WsZDQsaswJ6
枝③	名称	幌別川川尻チャシ	所在地	枝幸郡枝幸町下幌別

写真



※チャシとは…アイヌ文化の「砦」のこと。自然の地形をたくみに利用してつくられた
防御拠点、見張り場、儀場の場のこと。



上段：幌別川川尻北チャシ・空撮

下段左：北チャシ登り口

下段右：幌別川川尻南チャシ・全景

分類	遺跡
所在市町村	枝幸町
所在地補足	枝幸町市街地の南約6kmの海岸に流れ出る北見幌別川の下流湿原に立地しています。
構造・仕様等	孤島式チャシ
規格・法量等	北チャシ(全長102×幅45m), 南チャシ(全長126×70m)
該当年代	オホーツク文化期前期(6世紀)～アイヌ文化期(15世紀)
文化財指定	枝幸町指定文化財(史跡)
説明	枝幸町を東西に流れる北見幌別川の下流湿原に残された南北2つのチャシです。独立丘を利用した「孤島式」チャシの代表例として、古くから知られています。北チャシはオホーツク文化期前期の十和田式土器を伴う竪穴が発掘されており、南チャシには、擦文時代後期と推定される約50個の竪穴が残されています。アイヌ文化期には北見幌別川河口を一望する見張り場、儀礼の場として「チャシ」に活用されました。
公開情報	北見幌別川下流の湿原中にあります。チャシの存在は広く知られており、カーナビゲーション等で「アイヌ城跡」と表示されることもありますが、車での接近は困難です。北見幌別川沿いの作業道を進み、モシナイ川を渡り、湿原を踏破する必要があります。出土品を枝幸町資料館施設オホーツクミュージアムえさしにて展示していますので、こちらをご覧ください。
参考資料	大場利夫・大井晴男・菊池俊彦・新岡武彦、1972; 枝幸町川尻北チャシ調査概報. 枝幸町教育委員会
関連サイト	https://www.esashi.jp/